

東京農大周辺にみられた「里の景」を 想起させる造園空間造り

東京農業大学「経堂の森（仮称）」

所在地/東京都世田谷区 活動時期/2023年7月～2024年1月



「経堂の森（仮称）」全体

東京農業大学世田谷キャンパス内「経堂の森（仮称）」エリアの施工を行いました。弊社は施工を担当するだけでなく、設計者と共に設計意図をブラッシュアップした提案型の施工を行いました。広場には都市部にながら農と自然を感じられるよう「だんだん畑」や「レインガーデン」、「雑木のテラス」を表現しました。

四季を彩るツワブキやヤブランなどの地被植栽が繁茂して咲く「里のテラス」は開放時から自由な利用を選択できるサードプレイスとして学生や来訪者に利用されています。



活動の目的

東京農業大学のキャンパス再編集プロジェクトの一環であり、大学全体の施設整備方針と設計コンセプトとのすり合わせを踏まえた広場の施工が求められました。また、学生に実際の施工現場を見学する機会を設けて、造園という職業をより身近に体験できるようなCSR活動を目指しました。

取り組み・成果

整備方針である「東京農大の新しい顔となる東京農業大学国際センターに相応しい、国際色豊かな発信力のある景をつくる」を実現させるために、広場入口部からの景観を意識したウェルメイドな造りを目指しました。大学講義では経堂の森の紹介や造園施工管理の仕事紹介を学生に向けて行い、産学連携を意識した取り組みも実施しました。

今後の目標・課題

工事は竣工しましたが、残りの国際センター南側工事やフェーズ3にあたる農大の森改修についても設計が進んでいます。弊社としても、環境や景観によりよい付加価値を与え、豊かな学びを得られる空間を提供できるよう、技術的協力を継続していきたいです。



経堂門北側から広がる里の風景



多種多様な利用を想定した「里のテラス」



雨水流出抑制のための「レインガーデン」



静かな環境でのレスト空間「雑木のテラス」



崩れ積みの要素を取り入れた野面積み



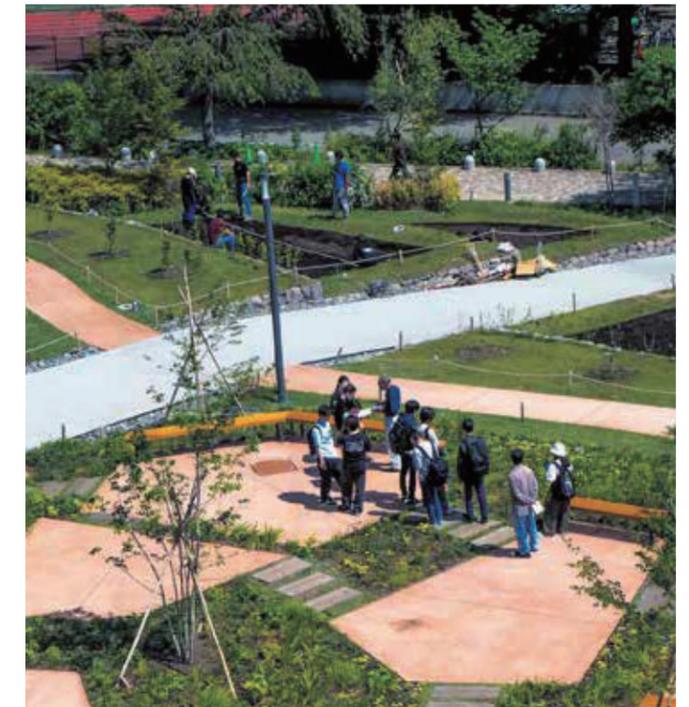
生育環境に留意した植物を選定



広場の散水は井戸水によって賄っています。



大学の講義「造園施工論」にて経堂の森（仮称）」の紹介を行いました。



学生たちの様々な課外活動に利用されています。



生垣植栽の植付指導の様子



石積の実演施工の様子